
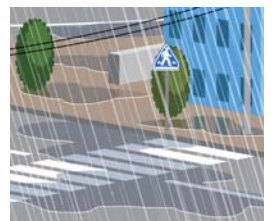















雨と土砂災害の関係

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子	災害発生状況
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。 	地面一面に水たまりができる。 	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。 
20~30	強い雨	どしゃ降り。	雨の音で話し声がよく聞き取れない。  傘をさしていてもぬれる。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のかけ崩れが始まる。 	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のかけ崩れが始まる。 
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。 	道路が川のようになる。 	山崩れ・かけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市部では下水管から雨水があふれる。 
50~80	非常に激しい雨	薄のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。 	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。 
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。			雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、嚴重な警戒が必要。 

参考：気象庁リーフレット

30ミリを超える雨の時は、外出をひかえましょう！

50ミリ以上の猛烈な雨が降ったら、
土砂災害に警戒が必要です！



土砂災害警戒区域について

土砂災害警戒区域などの指定対象

県が、被害を受けるおそれのある区域の地形、地質、土地利用状況について基礎調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域などを指定します。

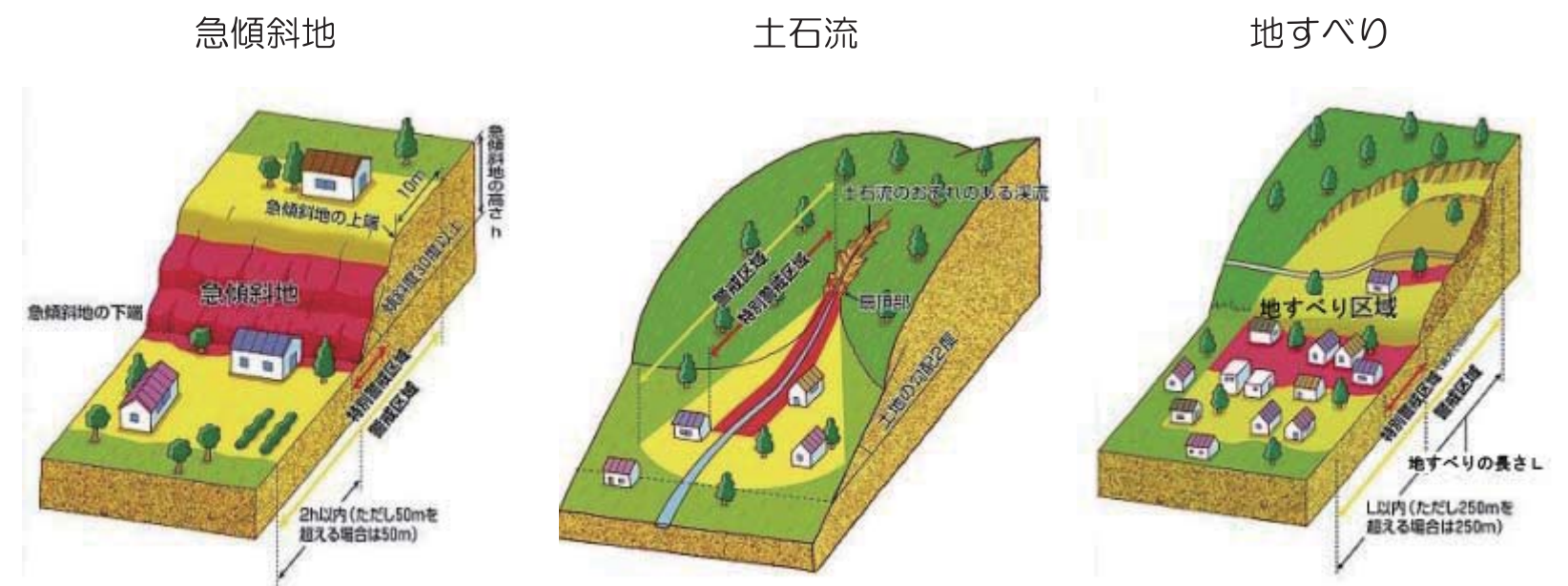
土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合に、住民などの生命や身体に危害を生じるおそれがあると認められる区域です。次の3つの種類に分類されます。マップ上のイエローゾーンがどの種類に分類されるかは兵庫県CGハザードマップ（※P18参照）で確認できます。

1. 急傾斜地の崩壊危険区域
2. 土石流の危険区域
3. 地すべりの危険区域

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

イエローゾーンのうち、土砂災害が発生した場合に、建築物に被害が生じ住民の生命や身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。



土砂災害警戒区域などに指定されると

土砂災害警戒区域に指定されると、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。土砂災害特別警戒区域に指定されると、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

参考：兵庫県HP

